

forum かわあばん

発行：(一社)福井県建築士会 〒910-0854福井市御幸3-10-15(福井県建設会館) TEL(0776)24-8781/FAX(0776)24-9570
登録番号：T1210005000262 E-mail: info@fukuiken-kenchikushikai.or.jp HP: https://www.fukuiken-kenchikushikai.or.jp

令和7・8年度 監理技術者講習 開催のお知らせ



本講習は公益社団法人日本建築士会連合会が国土交通省より「監理技術者講習」の登録講習機関の認可を受け、福井県建築士会が開催するものです。右記の日程表のとおり開催します。特に、一級建築士、一級建築施工管理技士、一級電気工事施工管理技士、一級管工事施工管理技士等の建築工事分野でご活躍されている監理技術者を対象に、実務に役立つ充実した内容の講習を行いますので、この機会に多くの建築施工系監理技術者の受講をお願いします。

受講申込：随時行っています。

受講料：テキスト・講習修了ラベル代込、税込

・WEB申込み…9,500円/1名 ・郵送・窓口申込み…10,000円/1名

講義の内容：DVDによる講義+修了試験(計360分)行います。

申込み方法：日本建築士会連合会のホームページで「監理技術者講習」の申込ページをご覧ください。 <https://www.kenchikushikai.or.jp>

※企業一括申込み(2名以上)が可能です。詳しくは下記まで電話下さい。

問合せ先：(一社)福井県建築士会 TEL 0776-24-8781 まで

土木系の監理技術者の
受講も可能です。

◆令和7年度監理技術者講習 日程表

開催地	開催日	会場
福井	2月4日(水)	第2演習室(定員12名)
敦賀	2月25日(水)	会議室(定員15名)

◆令和8年度監理技術者講習 日程表

開催地	開催日		
福井	4月8日(水)	6月3日(水)	8月5日(水)
	10月7日(水)	12月2日(水)	2027年 2月3日(水)
敦賀	6月24日(水)	10月28日(水)	

福井会場/第2演習室(定員12名) 敦賀会場/会議室(定員15名)

◆会場所地

【福井会場】福井県中小企業産業大学校(福井市下六条町16-15)

【敦賀会場】プラザ萬象(敦賀市東洋町1-1)

建築士会が行う監理技術者講習の特色▶①建築に特化した実務に役立つ講習 ②わかりやすく利便性の高いテキスト使用 ③建築士会CPD単位6単位の付与 ④左記以外に建築士会CPD制度加入者の方は建築士会連合会のWEB問題回答でのCPD単位(2ヶ月に一度3単位取得可能年間最大18単位)が受講後5年間取得可能となります。

専攻建築士更新・新規申請について

1 更新申請 2026年1月5日から2月27日の間にWEBにて申請願います

更新要件は、直近5年間のCPD60単位以上の取得が必要です。なお、専攻建築士認定後10年を超える方は、定期講習又は監理技術者講習のいずれかを受講し、6単位以上のCPD単位を取得することで更新可能です。ポートフォリオの追加もオンラインでできます。

2 更新料金

◎WEB申請 — 9,900円(税込、領域数に関係なし)

◎窓口申請 — 13,200円(1領域、税込)

3 新規認定 建築士会窓口で

◎要件 ①免許取得後5年以上の実務経験

②実務実績3件以上

③直近1年間のCPD12単位以上(R7.12月末)

◎認定費用 17,600円(1領域、5年間分税込)

*日本建築士会連合会サイトの専攻建築士申請から「登録更新申請操作マニュアル(WEB操作)」 「登録更新申請へのアクセス」をご覧ください。

*登録期限が切れてしまっている方もオンラインで申請できます。

*カードの必要の方は上記の料金を2,200円プラスとなります。

令和7年度のWEBでの更新申請は2月27日金までに行ってください

お知らせ

令和7年度

一級・二級・木造建築士定期講習について

定期講習は建築士法により建築士事務所に所属する建築士が3年に1回必ず受講しなければいけないこととなっております。

令和4年度中に受講された方は、令和7年度中に受講する義務があります。未受講の方は建築士法違反になりますので、対象の方は必ず受講するようお願いいたします。

建築士会では下記のとおり開催します。

受講申込みは、原則として「インターネットによる受付」のみとなります。(公財)建築技術教育普及センターホームページにてお申し込みください。なお、パソコン・スマホ・タブレット等による申込みを行うことが出来ない事由がある方につきましては、福井県建築士会にお電話ください。

第2回 令和8年2月18日(水) (定員40名)

ところ：福井県中小企業産業大学校(福井市下六条町16-15)

受講料：12,980円 講義方式：DVD講習

※CPD単位が6単位つきます。昼食を用意しています。

第12回ふくい建築賞 受賞作品の報告 (詳しくは来月発行の「建築福井75号」に掲載)

去る令和7年11月22日、アオッサ6F研修室にて開催されました「ふくい建築賞公開審査会」の結果を報告します。当日は満席となる約80名の聴衆が見守る中、一次・二次審査を通過した3部門、計11作品の設計者によるプレゼンと3名の審査員による公開審査が行われました。

いずれの作品も福井らしい魅力にあふれた力作が揃い、建築に対する施主の愛情と設計者としての情熱を感じることができました。受賞されました皆様、おめでとうございます。

2026年は13回目を迎え6月から応募申し込みを予定しております。会員の皆様からのたくさんの御応募を心よりお待ちしております。(実行委員長：瀬戸川 信之)

■大規模建築部門

・最優秀賞 「いとよミライエこども園」

設計者：西川国夫(有限会社 西川建築設計事務所)

・優秀賞 「越前ふくい美術館」

設計者：仙坊幸治/清水一則(株式会社 センボー建築事務所)

・優秀賞 「福井県立大学先端増養殖科学科 かつみキャンパス」

設計者：佐々木基之/小林正幸/河端俊弘/増永直也

(協同組合 福井県建築設計監理協会)

■中小規模建築部門

・最優秀賞 「八重巻酒店」

設計者：丸山晴之/前田光隆(株式会社 ヒヤッカ)

・優秀賞 「生もっちプリン専門店」

設計者：斉藤彰宏(田中建設株式会社一級建築士事務所)

■住宅部門

・最優秀賞 「百尺の平屋」/

設計者：野路敏之(野路建築設計事務所)

・優秀賞 「U-HOUSE」

設計者：岸名大輔(株式会社 BAUM建築設計事務所)

・優秀賞 「21世紀初頭の家」

設計者：山 博充(アトリエ721)

文化財修理技術者向け現場研修会 中村家住宅

主催：福井県生涯学習・文化財課、受託：福井県建築士会

福井県内で多くの文化財の修理が行われている状況を活かし、技術者の養成と技術力向上のための研修会を開催します。中村家住宅での研修は今年度3回目ですが、進捗をご覧いただけます。研修内容も違います。ぜひご参加を!

●第5回 重要文化財 中村家住宅 (南越前町河野1-55)

と き：3月1日(日) 10:00~17:00

講 師：京都伝統建築技術協会、山本製材、坂井順一氏

内 容：午前：修理現場見学、午後：実習、土壁塗体験(仕上)

対 象：文化財や歴史的建造物の修理に携わる又は興味のある技術者(設計監理者、施工技術者)および技能者(各種職人等)、行政担当者、建築を専攻する高校生・大学生(高校生は引率者同伴)

参加費：無料

定 員：30名(定員を超える場合は県内に住または勤務の方を優先)

申 込：事前申込が必要。申込締切は2月23日(月)。

右の二次元コードから、または下記のメールアドレスに申し込みください。



問 合：福井県建築士会文化財研修担当 shibata3904@gmail.com

備 考：集合場所、持物等の詳細は申込受付後にメールを送信します。希望者にCPD単位を発行。

詳しくは建築士会HPの研修案内をご覧ください。

「けんちく×まち(地域)トークセッション」と見学ツアー

と き：2月28日(土) 13:00~受付 13:30~開始

と ころ：丸岡城のまちコミュニティセンター/さくらホール
(〒910-0231/坂井市丸岡町霞町1丁目13)

登壇者：株式会社 TIT/富沢真二郎氏、田中大朗氏
株式会社 ヒヤッカ/丸山晴之氏
株式会社ピー・ティー・ピー/吉村恵理子氏
城小屋マルコ店主/松江輝雄氏

見学先：丸岡城マチヨリマーケット、城小屋マルコ
そば処 丸岡城御門庵など丸岡城周辺施設。

内 容：「丸岡城マチヨリマーケット」を中心とした丸岡城の周辺整備計画や、その活動を題材とする設計者と地域の方を交えたトークセッションと見学ツアー。

対 象：どなたでもご参加いただけます。

定 員：40名

参加費：会員・一般：500円、学生：無料

申 込：QRコード又は、各支部青年部会長、
(一社)福井県建築士会

TEL 0776-24-8781、FAX 0776-24-9570

締 切：2月14日(出)まで



令和7年度 福井県被災建築物応急危険度判定士認定講習会 ご案内

平成7年に発生した阪神・淡路大震災を機に、応急危険度判定が全国で初めて実施され、余震等による二次災害の防止に大きな効果を挙げました。

この成果をうけ、全国的に被災建築物応急危険度判定制度の整備が進められ、福井県においても、地震による建築物の被害から県民の安全を確保するため、平成7年から応急危険度判定士の養成に努めてまいりました。

昨年1月に発生した令和6年能登半島地震では福井県から約60名の判定士を派遣しました。現在、1,000人を超える建築士の方が判定士として認定されていますが、今後も県内に限らず、県外においての活動も求められることが考えられます。

建築士の皆様方には、是非、本講習会を受講され応急危険度判定士の認定申請をしていただきますようお願いいたします。

1. 講習会開催日程等

CPD 2単位

開催日	会場名	定員	開催時間
令和8年 3月16日(月)	福井県建設会館 4階 大会議室 (福井市御幸3丁目10番15号)	70名	14:30~16:20 (受付14:00~)

※会場駐車場が少ないため、できるかぎり公共交通機関の利用をお願いします。

時間	講習内容
14:30~14:35	開会挨拶
14:35~16:20	1. 応急危険度判定制度について 2. 応急危険度判定基準について 3. 応急危険度判定の演習等

2. 受講料 無 料

主催/福井県被災建築物応急危険度判定協議会 <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenchikujuutakuka/index1.html>

3. 受講資格・受講申し込み等

受講資格	次の①~③のいずれかに該当する方 ①県内に在住または勤務する建築士(一級・二級・木造)で、判定士として登録する意思のある方 ※ボランティアとして、被災地での活動に参加できる方に限ります。 ②福井県被災建築物応急危険度判定士 ③行政職員
申込受付期日	3月9日(月)必着 なお、定員になり次第締め切ります。
申込提出方法	申込フォームよりお申込みください。→ https://forms.gle/fnbChVuTGFxHkKg9
認定に必要な持参物	★新規・更新登録には下記のものが必要です。 受講の際に必ず持参してください。 ①受講票 (FAXによる申込の場合は受付印のあるものがFAXにて返送されます。申込フォームによる申込の場合は受付完了メールにて送られます。) ②身分証明書の写し(運転免許証または住民票等) ③建築士免許証の写し ④写真1枚(縦3cm×横2.5cmで無帽・正面・上半身・カラーで6か月以内の撮影。写真裏面に氏名を記入)

4. 問合わせ先：一般社団法人 福井県建築士会

〒910-0854 福井市御幸3丁目10-15 福井県建設会館内2階
TEL：0776-24-8781 FAX：0776-24-9570

「建築士」の資格制度と「建築家」の職能育成 本会初代会長 吉田宏彦 没後40年と「福井県戦後建築史」(中)

1952(昭和27)年3月1日の設立総会で創立した「福井県建築士会」は、会員数404名(出席者236名)でスタートした。吉田宏彦は初代会長の就任挨拶でヨーロッパ「建築家」像の伝統的職能に眼差しを向け、ウイトルウィウスの『建築十書』から「建築家は学識と技能の両方を身につけていなければならない」を引用し、戦後日本の新たな「建築士」誕生に「ヒューマニズム」の職能育成が重要であると語り、「建築士」と「建築家」の相剋を問いかけたと思われる。

続く同年5月10日に第1回通常総会が会員112名の出席で開催され、ゲストとして東京から建築家・久米権九郎を迎えて記念講演「欧州の建築」がスライド映写で行われた。また事業計画として「建築士試験準備講習会」「現場見学会」「講演会」「懸賞設計募集」「会誌発行」などが可決された。このうち一級・二級建築士受験の準備講習会は、福井大学建築教員(坂部保治・五十嵐直雄・塩原正典)が中心となって各専門分野の講師を務め、纏め役の吉田会長は翌年に『建築士受験のための構造力学』を出版するなど大いに尽力した。このテキストはとても好評で、講習会のほか大学の授業でも広く使用されて毎年増刷された。教科書や資格学校、ネット情報などが充実した現在とは大きく異なり、物不足の復興期にいち早く普及した吉田会長のテキストは、戦後復興事業で働く建築技術者に資格取得を力強く応援したのであり、ここに見落とせない歴史的意義がある。

さらに吉田会長は「建築家」の職能育成のために「顕彰設計募集」を積極的に企画し、郷土福井のローカル・アーキテクト像の一流流となった。この戦後初の顕彰設計(コンペ)については、次回で紹介したい。 市川秀和(福井工業大学)

建築士試験受験のための 構造力学

吉田宏彦著

相模書房1953年

吉田宏彦著『建築士試験受験のための構造力学』
相模書房1953年